

図研エルミック株式会社

決算説明会 資料

(東証スタンダード：コード 4770)



■ Engineering Service

■ Streaming Products (Middleware & Platform)

2023年5月23日

代表取締役社長 朝倉 尉

Streaming Engineering Service

実現性と実用性の高いStreaming Network技術をエンジニアリング・サービス、ストリーミング製品として提供し、製品開発・システム構築におけるパートナーとして、お客様と一体となった開発業務を担っています。

機器開発

- ・監視機器
- ・AIカメラ
- ・医療機器
- ・FA機器
- ・車載機器 など



システム開発

- ・大規模監視システム
- ・モバイルビューワ
- ・クラウドシステム など



ソリューション/サービス開発

- ・スマートシティ
- ・スマートファクトリー
- ・スマート医療 など



エンジニアリング・サービス

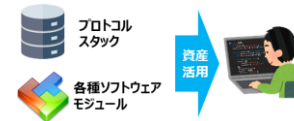


多様な分野で実績

プロフェッショナルな技術とノウハウを持つ
経験豊富なエンジニアが開発業務を支援



ストリーミング製品 (Middleware & Platform)



映像連携
プラットフォーム



高品質・短納期な、製品開発/システム構築を実現する
実績豊富で多彩な技術資産を提供

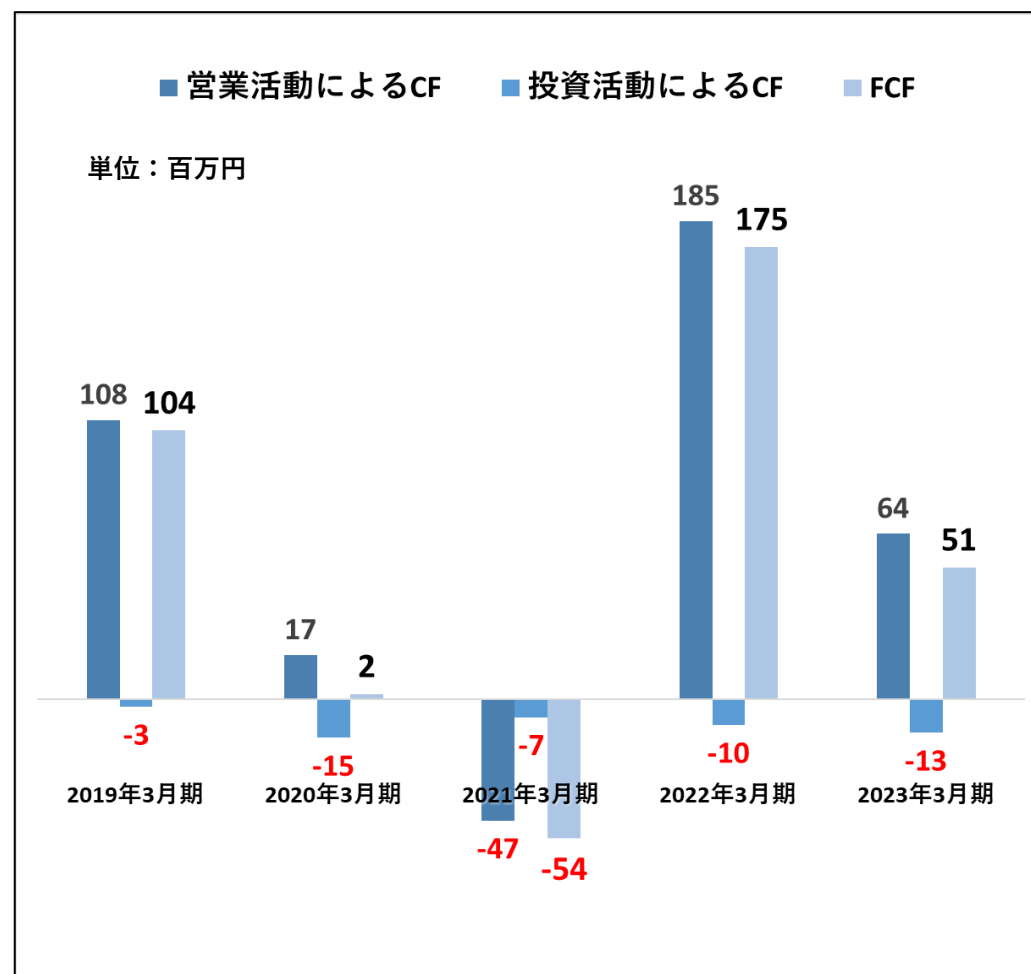
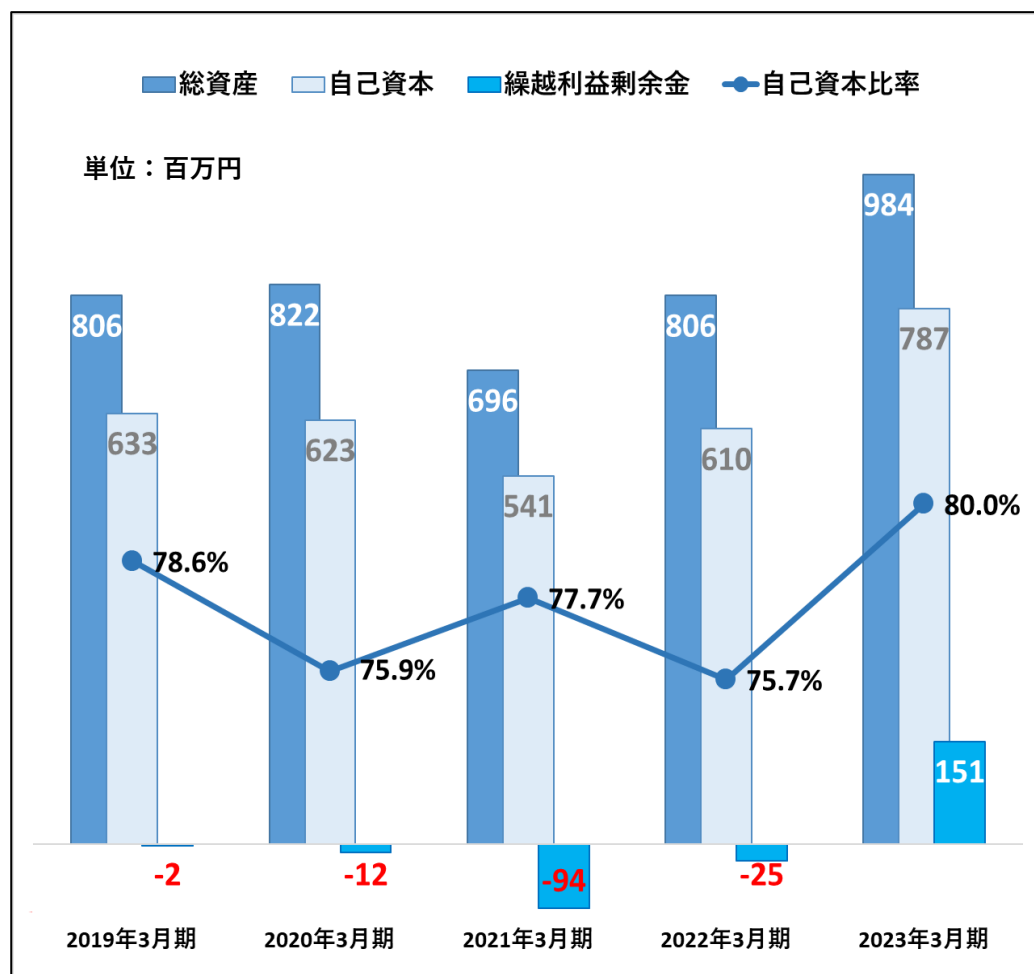
保有技術：実現性(実績)と実用性(性能・品質)の高い、Streaming Network 技術

- ・汎用Streaming 技術資産+知見
- ・ONVIF 技術資産+知見
- ・低遅延ストリーミング 知見
- ・Network(FA含) 技術資産+知見
- ・映像連携システム構築 技術資産+知見
- ・映像の利活用 知見

2023年3月期 決算概要

2023年3月期 (単位：百万円)	上半期		下半期		通期	
		前年同期 増減		前年同期 増減		前年同期 増減
売上高	423	+80	502	+43	925	+123
売上総利益	217	+64	277	+47	494	+112
販管費	153	+9	169	+23	323	+32
営業利益	64	+55	107	+24	171	+79
経常利益	64	+55	107	+29	171	+85
当期純利益	53	+47	123	+59	176	+107

- 継続的な事業成長を実現し、前事業年度から大幅な増収増益。
- Engineering Service(開発業務)とStreaming製品を組み合わせた、付加価値の高いソリューション提案に継続して注力した結果、売上高が前年同期比 約15%増加。
- 売上高の増加に加え、Engineering Service(開発業務)におけるプロジェクトマネジメントの強化による開発原価の低減、経費削減、繰延税金資産の計上により、期初予想を大幅に上回る利益を計上。

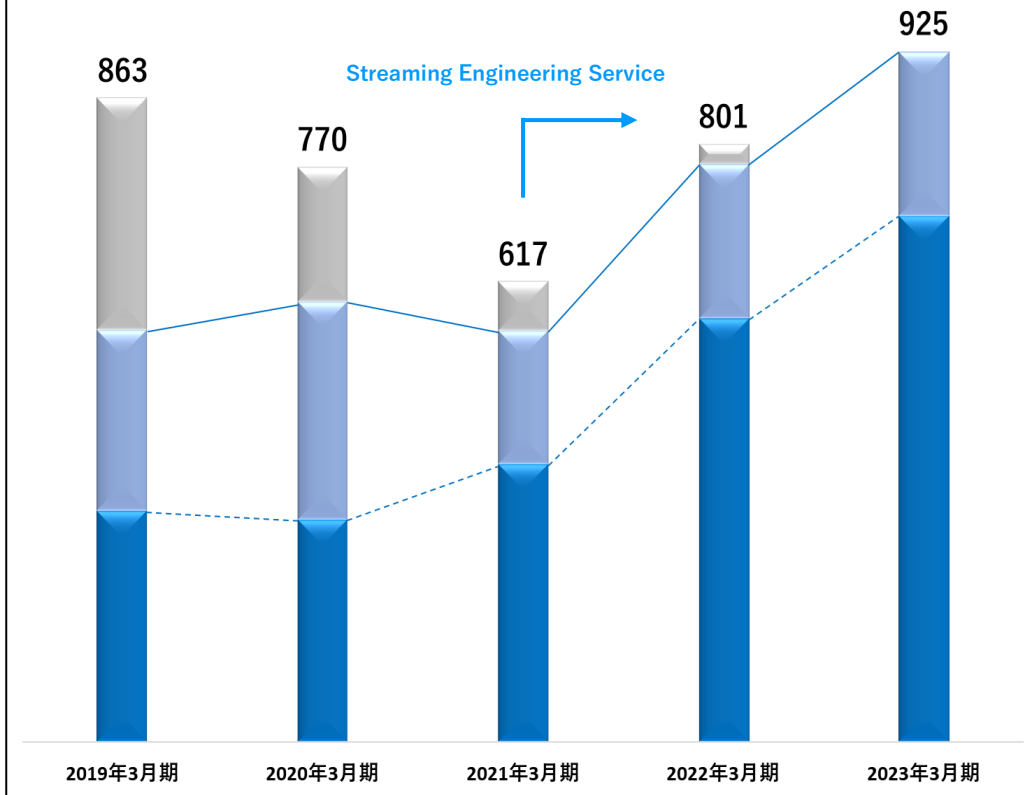


- 流動資産が 1億47百万円増加し、固定資産が 30百万円増加したため、資産合計は 9億84百万円（前年同期比 1億77百万円増加）となりました。
- 利益剰余金 1億76百万円の増加により、繰越利益剰余金のマイナスを解消し、純資産合計は 7億87百万円となり、自己資本比率は80.0%となりました。
- 税引前当期純利益 1億71百万円の計上、売上債権 1億5百万円増加等により営業活動の結果得られた資金は 64百万円となりました。またフリーキャッシュフローは 51百万円のプラスとなりました。

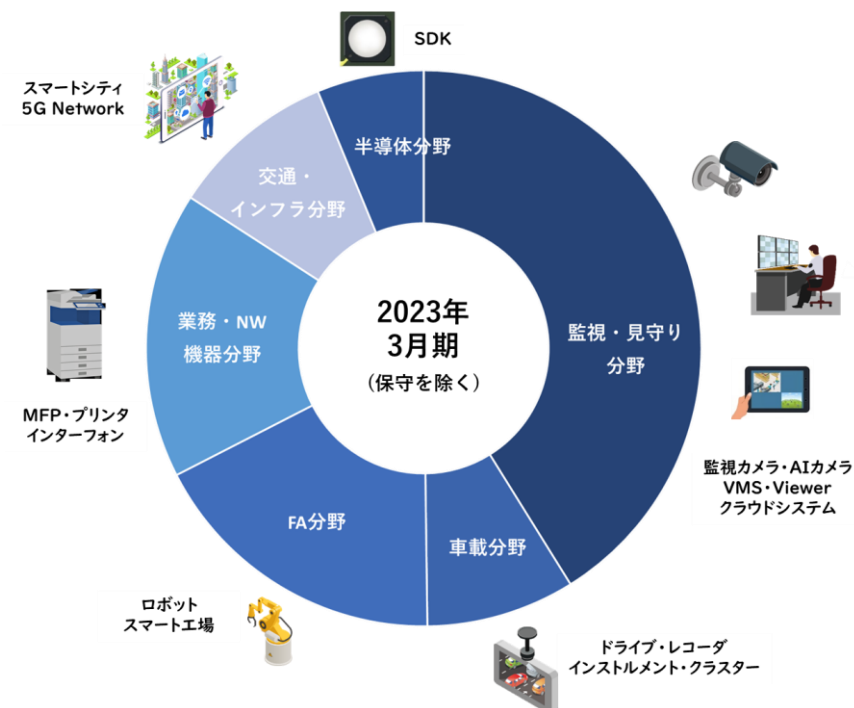
売上高 推移

単位：百万円

■ Engineering Service ■ Streaming Products ■ Others



顧客分野別 売上高割合

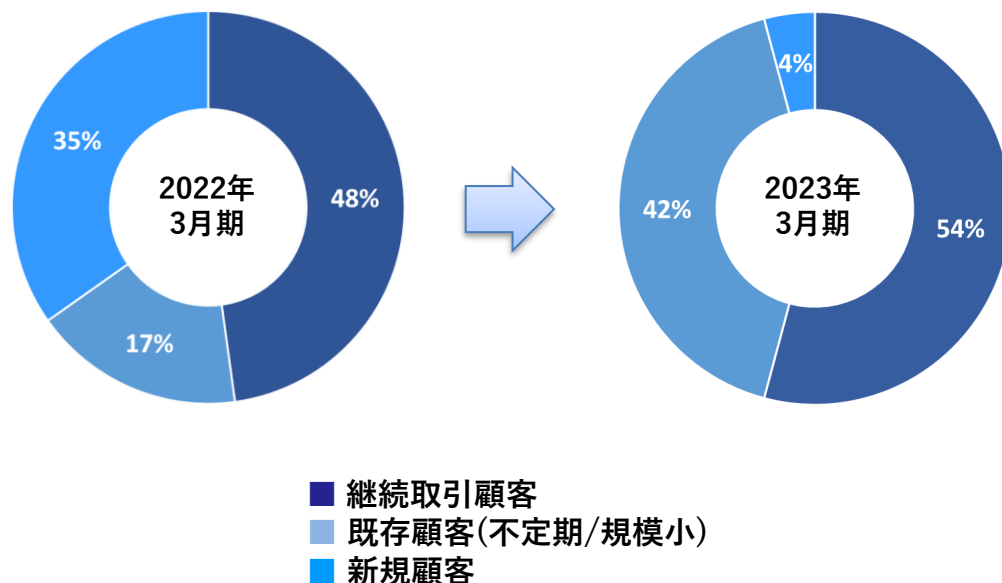


顧客分野別 売上高増加状況 (2021年3月期比較)

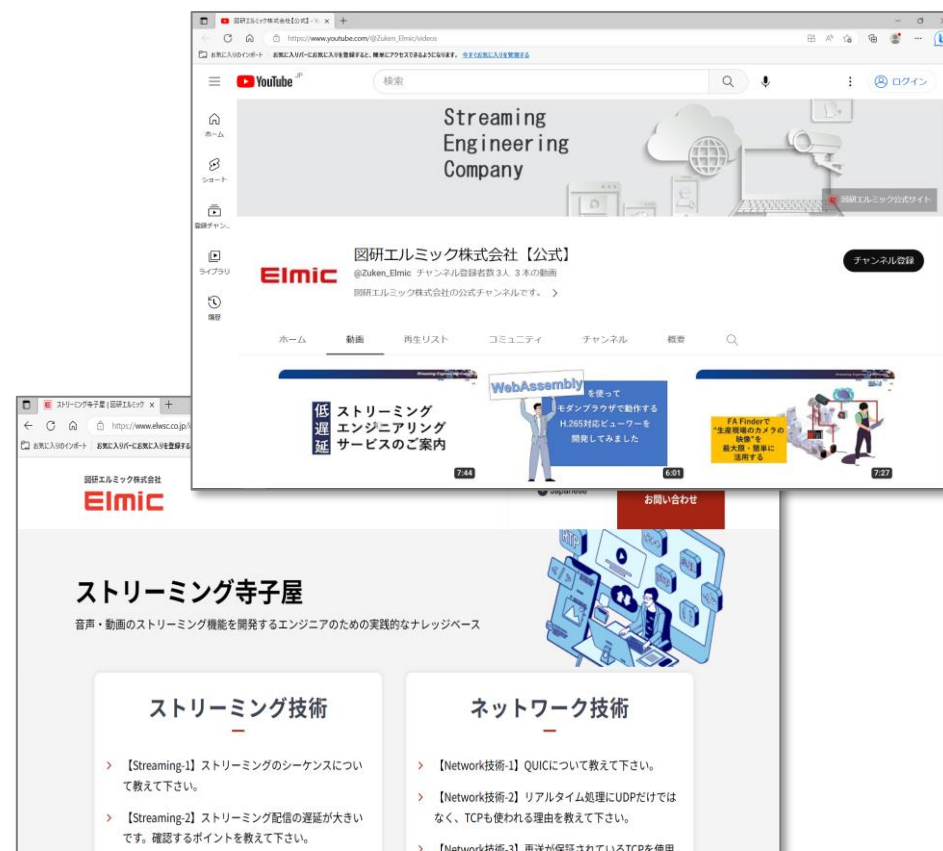
監視・見守り分野	1.5倍	業務・NW機器分野	1.9倍
車載分野	2.4倍	交通・インフラ分野	1.4倍
FA分野	2.3倍	半導体分野	3.6倍

- Streaming Network技術に集中した事業活動を継続した結果、売上構成が全てStreaming Engineering Serviceに変化し、売上高 9億円台を回復。
注力するEngineering Service(開発業務)は前年同期比 約24%増と堅調に成長。
- 5G普及やDX加速を背景に、Streaming Network技術の需要の高まりは顕著であり、当社顧客層も主要な監視・見守り分野に加え、車載分野、FA分野、半導体分野等へ広がりを見せている。
幅広い分野からのStreaming Network技術に対する需要は、引き続き旺盛と予想。

Engineering Service 取引状況別 顧客数割合



技術情報の発信



- Engineering Service(開発業務)において、一定規模の取引が複数年継続して見込める「継続取引顧客」の拡大に注力して取り組んだ結果、継続取引顧客数の割合が50%以上となり、継続的で安定した収益基盤の確立が着実に進行。一方、新規顧客の獲得は低調であり更なる強化が必要。
- より幅広い分野・顧客層において、当社が保有するStreaming Network技術の認知度向上を図るため、公式YouTubeチャンネルの開設やエンジニアのためのナレッジベース(ストリーミング寺子屋)を開設し、当社技術情報の発信を通じた、新規顧客、潜在顧客の発掘活動を推進。

2024年3月期 計画

● 売上高の増加

Engineering Service(開発業務)を軸に、売上高 10億円超を見込む
更なる成長・事業拡大に向けた取り組みを開始

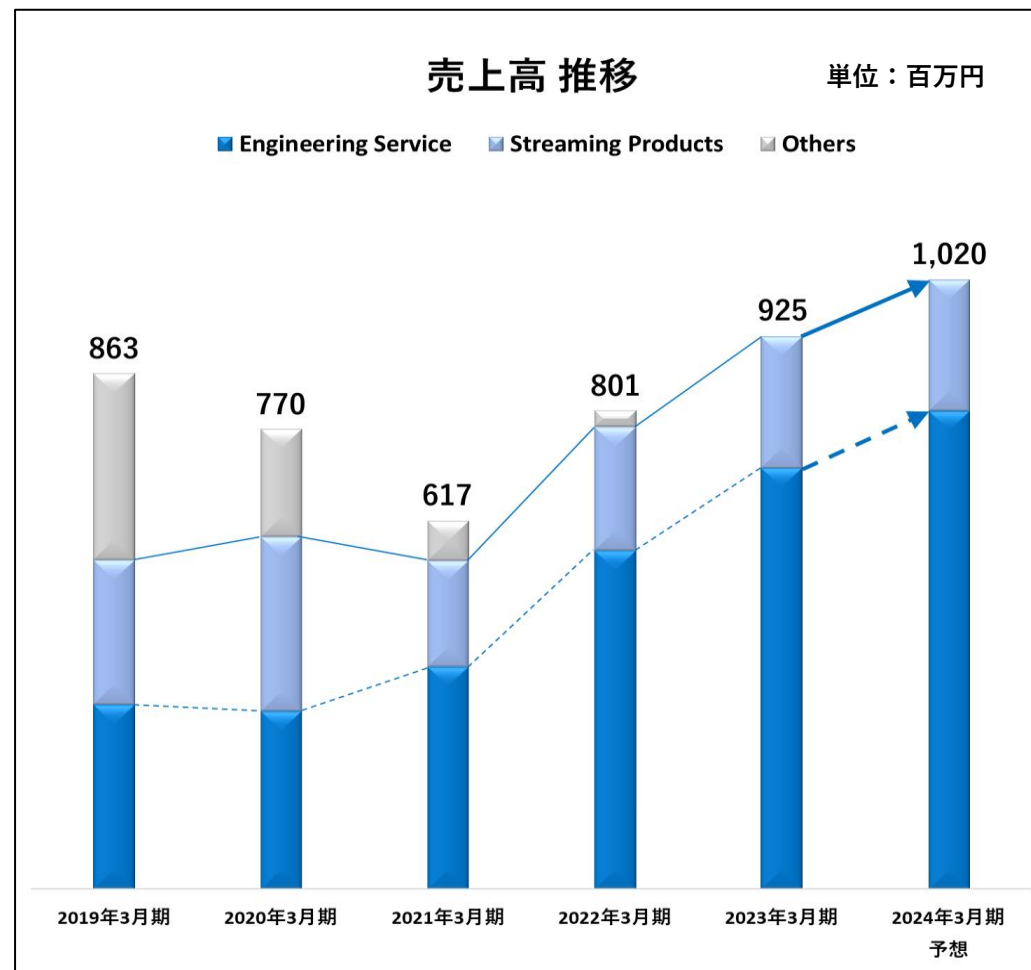
● 継続的な事業拡大への投資

Engineering Service拡大に向け、エンジニア増員を継続
技術力向上・技術領域拡大に向け、エンジニア育成を一層強化
Streaming Network技術に関連する新製品/新サービスの開発を計画

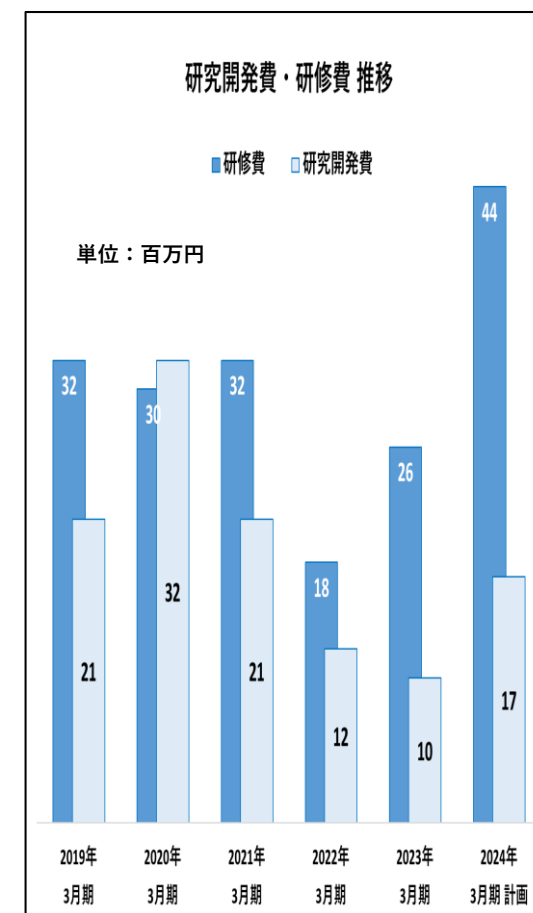
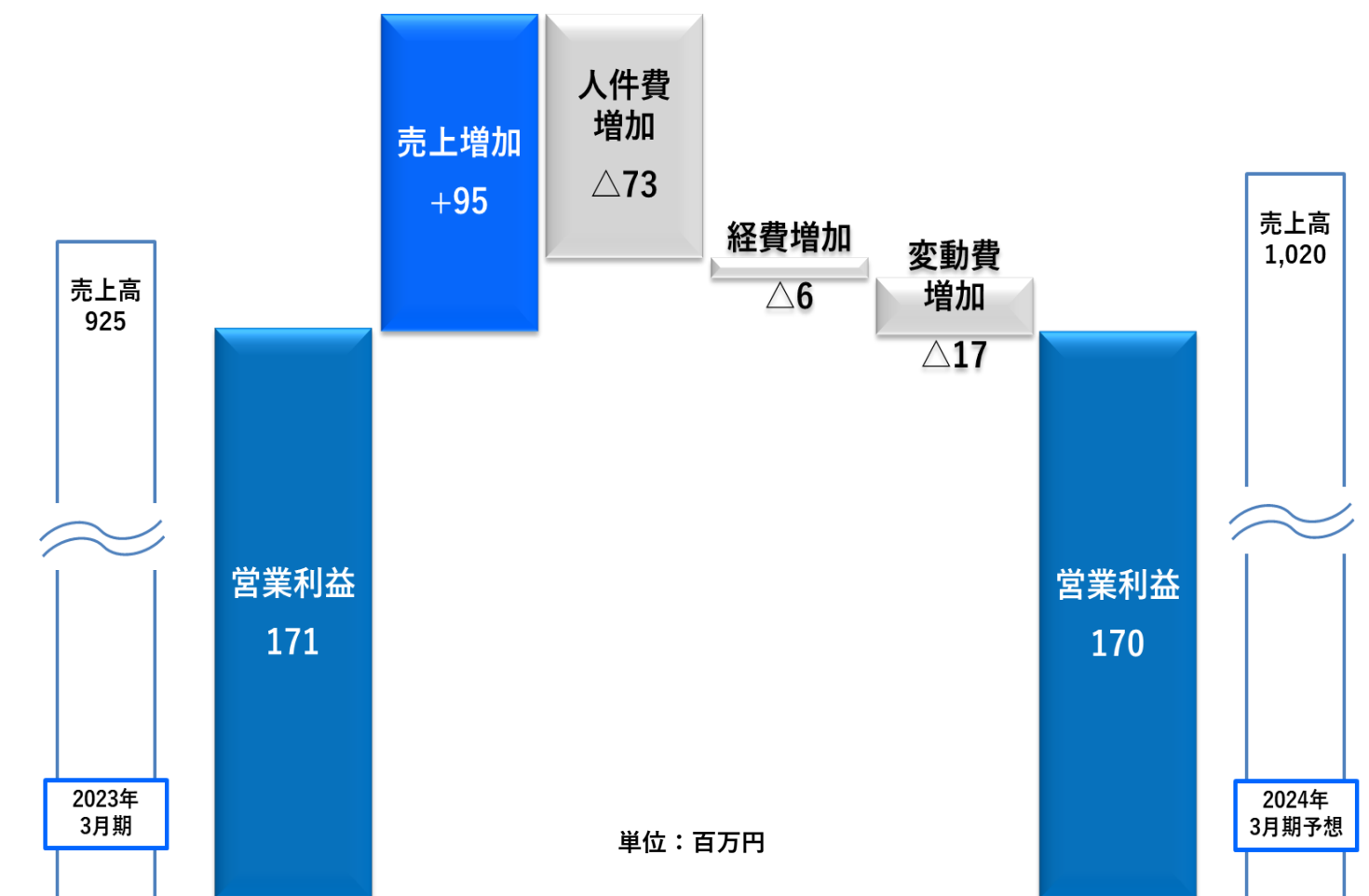
● 配当の継続

継続的な配当の実施を計画

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期	
		予想	前年同期 増減
売上高	925	1,020	+95
営業利益	171	170	▲1
経常利益	171	170	▲1
当期純利益	176	140	▲36
配当	期末配当 3円	期末配当 3円	—



- Streaming Network技術に集中した事業活動を継続し、約10%の増収を見込む。Engineering Service (開発業務) 売上高は前年同期比 約13%増、Streaming製品 売上高は前年同期並みを予想。
- 継続的な事業拡大に向け、エンジニアの増員、エンジニアの技術力向上・技術領域拡大に向けた教育研修の一層の強化、新たな需要獲得に向けた新製品/新サービス開発への投資、繰延税金資産の影響解消により、前年同期比 約20%の減益を見込む。
- 期末配当は継続を計画。



- Engineering Service(開発業務)を中心に 95百万円の売上高増加を見込むも、人的資本への投資ならびに新たな需要獲得に向けた開発投資により、営業利益は横這いと予想。
- 継続的な事業拡大に向けた人的資本への投資として、エンジニアを中心とした増員(人件費 73百万円増)、エンジニアの育成強化(研修費 18百万円増 *1)を計画。
- 新たな需要獲得に向けた新製品/新サービス開発への投資(研究開発費 7百万円増 *1)を計画。

*1：研修費および研究開発費は人件費総額の内数。

Streaming Engineering Serviceを 強力に推進し、事業の成長を図る。

重点課題：

安定した収益基盤の確立、持続的な事業成長に向け、以下の重点課題への取り組みに注力。

■ 売上高の増加

安定的な継続取引が期待できる Engineering Service(開発業務)の規模拡大を軸に、一定規模の取引が複数年継続して見込める「継続取引顧客」の拡大を一層強力に推進。これにより、着実に継続的な売上高の増加に取り組む。

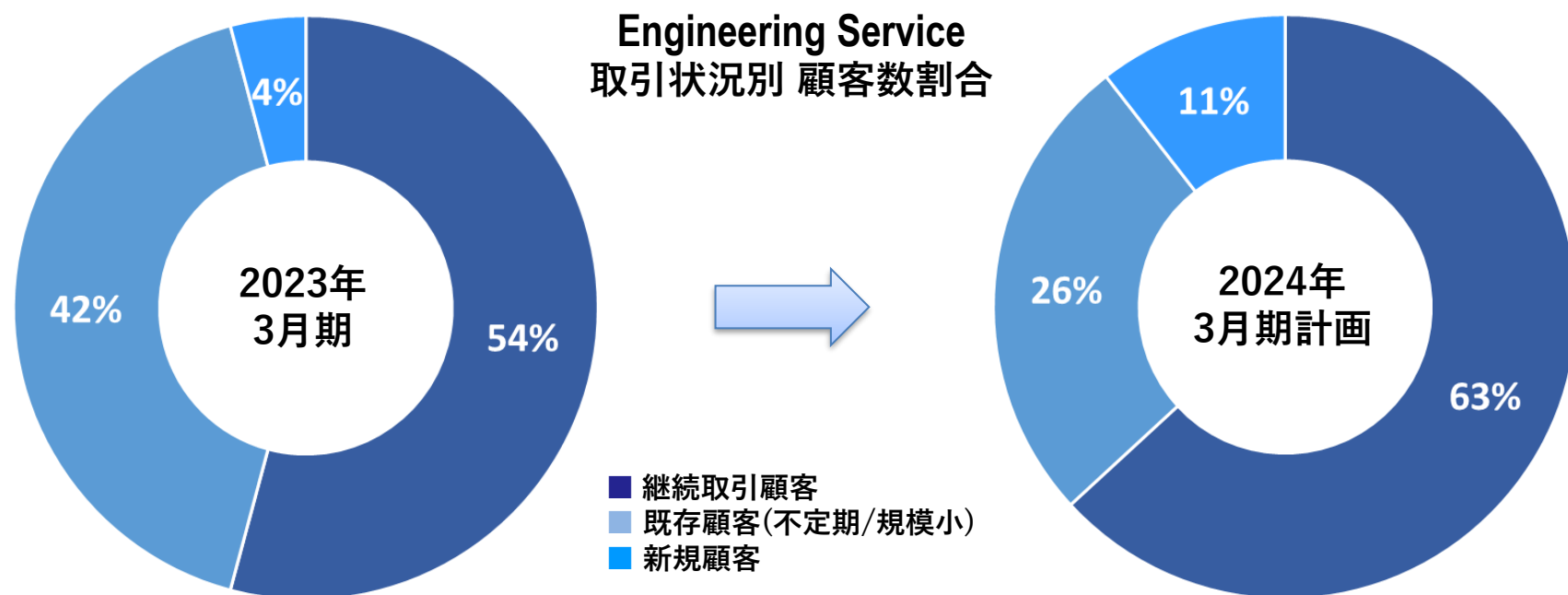
■ 顧客の拡大

Streaming Network技術に対する需要が引き続き旺盛な、組込開発を行う顧客への徹底した販売活動と新製品/新サービスの提案により、既存顧客の深耕・新規顧客の発掘を強力に推進。

システム開発の主流になりつつある、Platformを基盤とした開発を行う顧客に向けた提案活動を開始し、ビジネス領域拡大による新規顧客開拓に取り組む。

■ 継続取引顧客の拡大

Engineering Service(開発業務)の規模拡大に向け、一定規模の取引が複数年継続して見込める「継続取引顧客」の拡大を推進し、継続的な売上高の増加と安定した収益基盤の確立に取り組む。

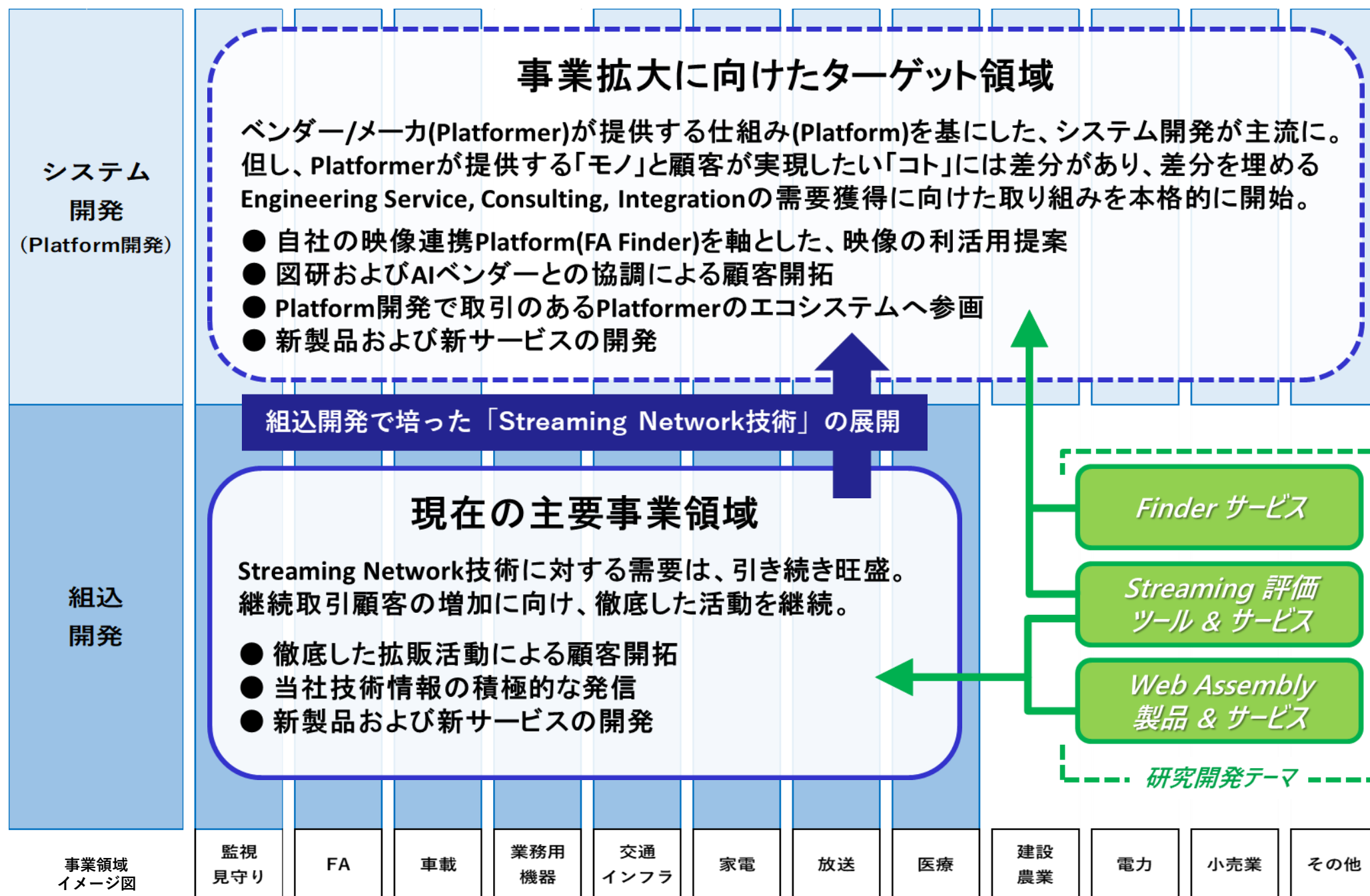


● 既存顧客の深耕

既存顧客および前年度獲得した新規顧客に対し、当社開発担当範囲の拡大や新製品/新サービスの提案を積極的に行い、取引規模の拡大と継続的な取引を実現し、「継続取引顧客」の割合を 2/3 程度まで拡大する計画。

● 新規顧客の獲得

既存技術の徹底した提案活動および新製品/新サービスの提案による新規顧客開拓を強力に推進。技術情報の発信(展示会、ウェビナー、HP改訂など)を強化し、新規顧客・潜在顧客の発掘を推進。



— ご注意 —

本資料には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

お問い合わせ先

図研エルミック株式会社 管理本部 IR担当

URL : <https://www.elwsc.co.jp>

E-mail : ir@elwsc.co.jp

Phone : 045-624-8111

※本資料の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

会社紹介 (ご参考)

図研エルミック株式会社 会社紹介

Streaming Engineering Company

● 会社概要

社名	図研エルミック株式会社
設立	1977年4月30日
資本金	500,000,000円（2022年3月31日現在）
従業員数	47名（2022年3月31日現在）
事業内容	ミドルウェア製品・システム製品の開発販売および エンジニアリング・サービスの提供
事業所 株 式	横浜本社（横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル） 東証スタンダード上場

役員	代表取締役社長	朝倉 尉
	取締役(開発本部長)	藤井 孝博
	取締役(営業本部長)	赤田 正樹
	取締役(管理本部長)	高橋 雄一郎
	取締役(常勤監査等委員)	高橋 慶（社外取締役）
	取締役(監査等委員)	本間 政司（社外取締役）
	取締役(監査等委員)	安藤 宏和（社外取締役）

関連会社 (日本国内)	株式会社図研 図研テック株式会社 図研ネットウエイブ株式会社 株式会社図研プリサイト 図研アルファテック株式会社 図研モデリンクス株式会社
----------------	--

加盟団体	IPv6 Ready Logo Program ECHONETコンソーシアム ONVIF
------	--



● 沿革

1977	株式会社エルミックシステムを横浜市に設立
1998	組込システム向けIPv4プロトコルスタック「KASAGO IPv4」販売開始
2000	東証マザーズに上場
2002	組込システム向けIPv6プロトコルスタック「KASAGO IPv6」販売開始
2005	ウェスコ株式会社と合併し、エルミック・ウェスコ株式会社に
2008	株式会社図研と業務資本提携発表
2009	株式会社図研よりSoC事業部を会社分割により継承 図研エルミック株式会社へ社名変更 IPセキュリティ向けミドルウェア「Ze-PRO RTP」「Ze-PRO IPcam」 「Ze-PRO IPmon」販売開始
2013	スマートハウス向けミドルウェア「Ze-PRO ECHO Lite」販売開始
2014	東証第二部に市場変更
2016	FAとIPカメラを融合する、製造業向けソリューション 「チョコ停Finder」販売開始
2017	創立40周年 Multi Platform対応ビューワー開発環境「Ze-PRO SCP」販売開始
2018	ONVIF Profile-T対応ミドルウェア「Ze-PRO IPcam-ST」 「Ze-PRO IPmon-ST」販売開始
2020	セキュアRTPミドルウェア「Ze-PRO SRTP」販売開始 映像連携プラットフォーム「FA Finder」販売開始
	Streaming エンジニアリング・サービスの提供を開始
2022	映像連携プラットフォーム「FA Finder」にAI映像解析を追加 ONVIF Profile-M 対応ミドルウェア「Ze-PRO IPcam-PM」 「Ze-PRO IPmon-PM」を販売開始 東証スタンダード市場へ市場区分変更

Streaming Engineering Service

実現性と実用性の高いStreaming Network技術をエンジニアリング・サービス、ストリーミング製品として提供し、製品開発・システム構築におけるパートナーとして、お客様と一体となった開発業務を担っています。

機器開発

- ・監視機器
- ・AIカメラ
- ・医療機器
- ・FA機器
- ・車載機器 など



システム開発

- ・大規模監視システム
- ・モバイルビューワ
- ・クラウドシステム など



ソリューション/サービス開発

- ・スマートシティ
- ・スマートファクトリー
- ・スマート医療 など



エンジニアリング・サービス

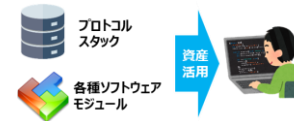


多様な分野で実績

プロフェッショナルな技術とノウハウを持つ
経験豊富なエンジニアが開発業務を支援



ストリーミング製品 (Middleware & Platform)



映像連携
プラットフォーム

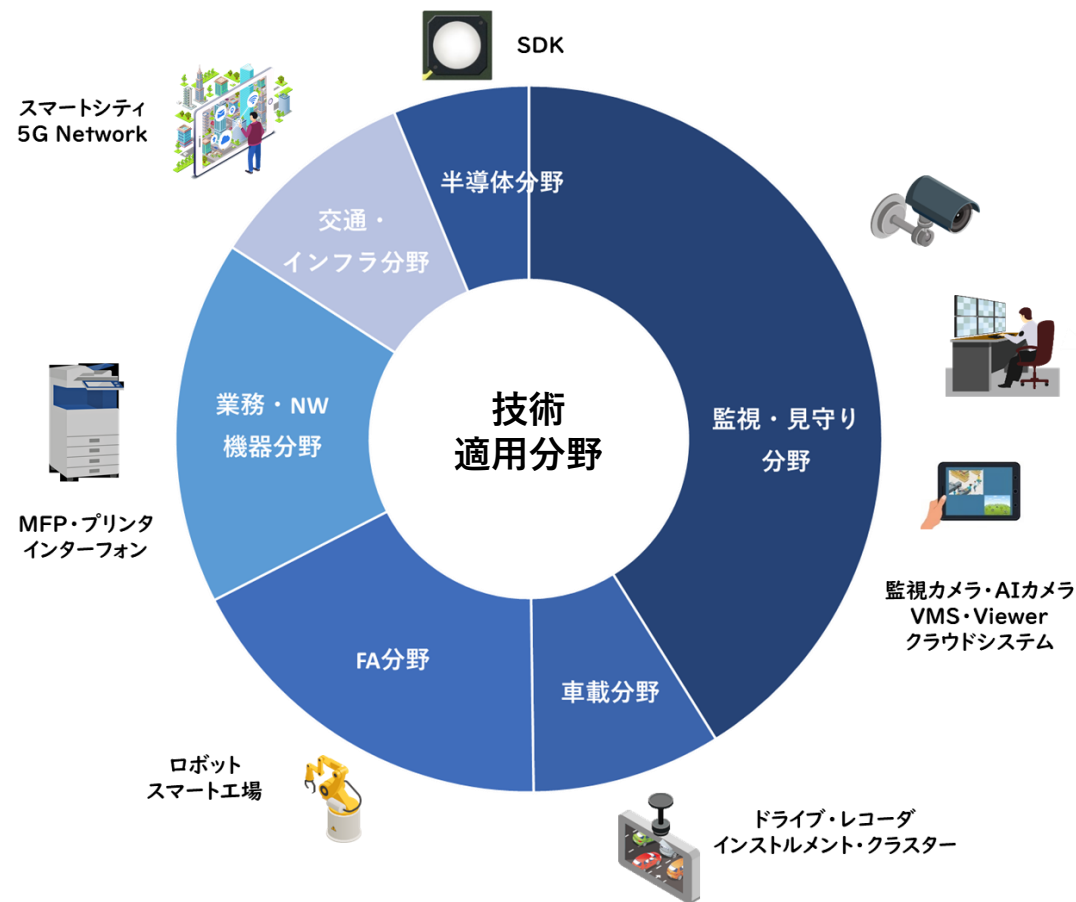
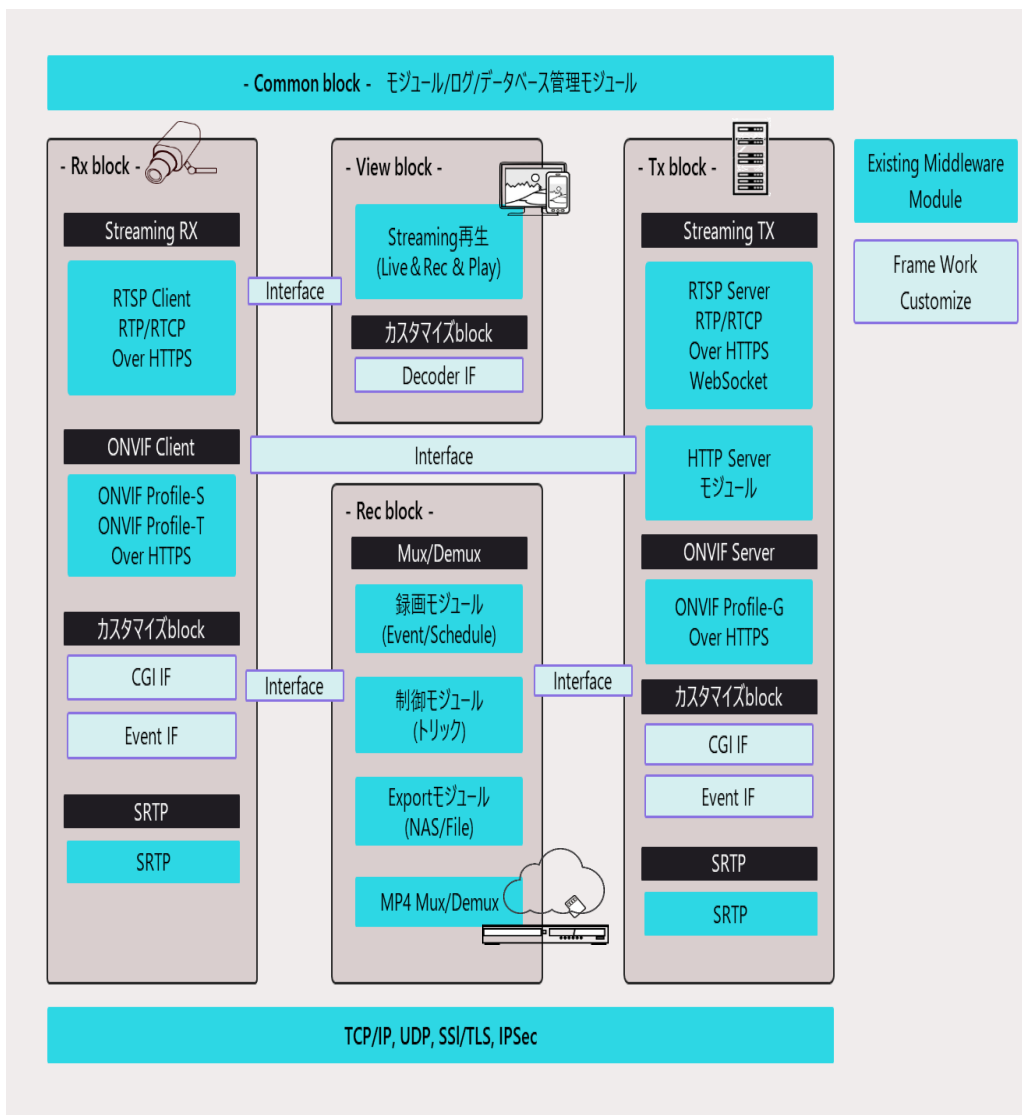


高品質・短納期な、製品開発/システム構築を実現する
実績豊富で多彩な技術資産を提供

保有技術：実現性(実績)と実用性(性能・品質)の高い、Streaming Network 技術

- ・汎用Streaming 技術資産+知見
- ・ONVIF 技術資産+知見
- ・低遅延ストリーミング 知見
- ・Network(FA含) 技術資産+知見
- ・映像連携システム構築 技術資産+知見
- ・映像の利活用 知見

ストリーミング ネットワーク システムを構成する各機能を、市場実績の豊富な技術資産として保有しています。
 これら技術を核としたエンジニアリング・サービスおよびストリーミング製品の提供で、
 早期システム構築・コスト削減・信頼性向上を実現します。



Engineering Service

Streaming Networkに関わる長年の経験、知識、技術資産を活かし、組込ソフト開発やシステム開発、ソリューション開発を、要件定義から設計・実装、各種標準規格の提案、アプリケーション開発、検証環境構築まで幅広くサポートします。



Engineering Service実績

監視 警備 	・IPカメラ、レコーダ、クラウドシステム開発における競合優位性を重視した要件定義 ・ストリーミング開発用OSS(Gstreamer)の置換によるIPカメラの遅延改善 ・標準規格での相互接続性を確保した、クラウドカメラシステム開発 ・車載用センサーとカメラの連携開発 ・WiFi / LTE対応を含む、大規模警備システム開発と保守メンテナンス ・多品種のIPカメラ接続を実現した大規模VMS開発 ・多端末接続／遠隔モニタリング用途向け、スマホビューワーアプリ開発
医療 	・手術映像のリアルタイム共有システム開発 ・高度医療情報の低遅延モニタリングシステム開発
自動車 	・スマートフォン連携を含む、車載用センターディスプレイ開発 ・次世代車載通信ネットワークの研究用PoC開発 ・EV車ーEMS間通信システムの開発
FA 	・PLCと連携したカメラ映像取得ユニット開発 ・次世代ロボット向け、ストリーミング機能の仕様策定および開発 ・工業用プリンターの通信プロトコル実装 ・SCADAとカメラ映像の情報連携システム開発
クラウド 	・監視クラウドシステム開発における競合優位性を重視した要件定義 ・多品種のIPカメラ接続を実現したクラウド型大規模VMS開発 ・AWSを利用した特定用途向けWeb会議システム開発
その他 ネットワーク 	・MFP/プリンタへのTCP/IP、CIFSの実装 ・制御コントローラー用シミュレータ開発 ・5Gインフラの基礎開発研究支援 ・IPネットワーク対応テレビドアホン開発 ・電力監視システムのコストダウン開発
半導体 	・LSI用SDK（ソフトウェア開発キット）開発支援

Streaming Network Middleware

Streaming Networkに関わる様々なプロトコルを、実装しやすいミドルウェア ライブラリとして幅広く提供しています。

各種プロトコルのカスタマイズやポーティングもサポートします。



プロトコル・スタック(ミドルウェア製品)

ONVIF SDK

- Ze-PRO IPcam
- Ze-PRO IPmon
- Ze-PRO IPrec



Streaming SDK

- Ze-PRO RTP / RTSP / SRTP / WebSocket
- Ze-PRO RTMP
- Ze-PRO HTTP Streaming
- Ze-PRO MP4 Mux / Demux / TS Mux

Ethernet Protocol SDK

- KASAGO TCP/IP, UDP
- KASAGO IPv6 (Dual)
- KASAGO IPv4, IPv4 light
- Options (DHCP, FTP, HTTPc, SNMP, SNTP, etc.,)

Security Protocol SDK

- Ze-PRO SRTP
- Ze-PRO SSL/TLS
- KASAGO IPsec / IKEv2

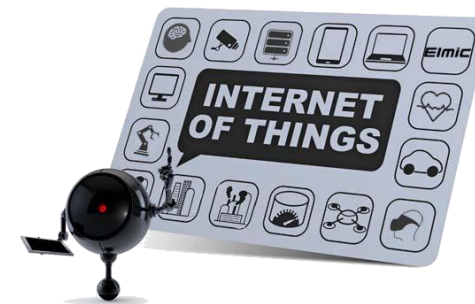
Other Protocol

- Ze-PRO ECHO Lite (ECHONET Lite)
- Ze-PRO DDNS
- Ze-PRO SMTP / POP3
- Ze-PRO SIP
- Ze-PRO HTTPd
- Ze-PRO CIFS

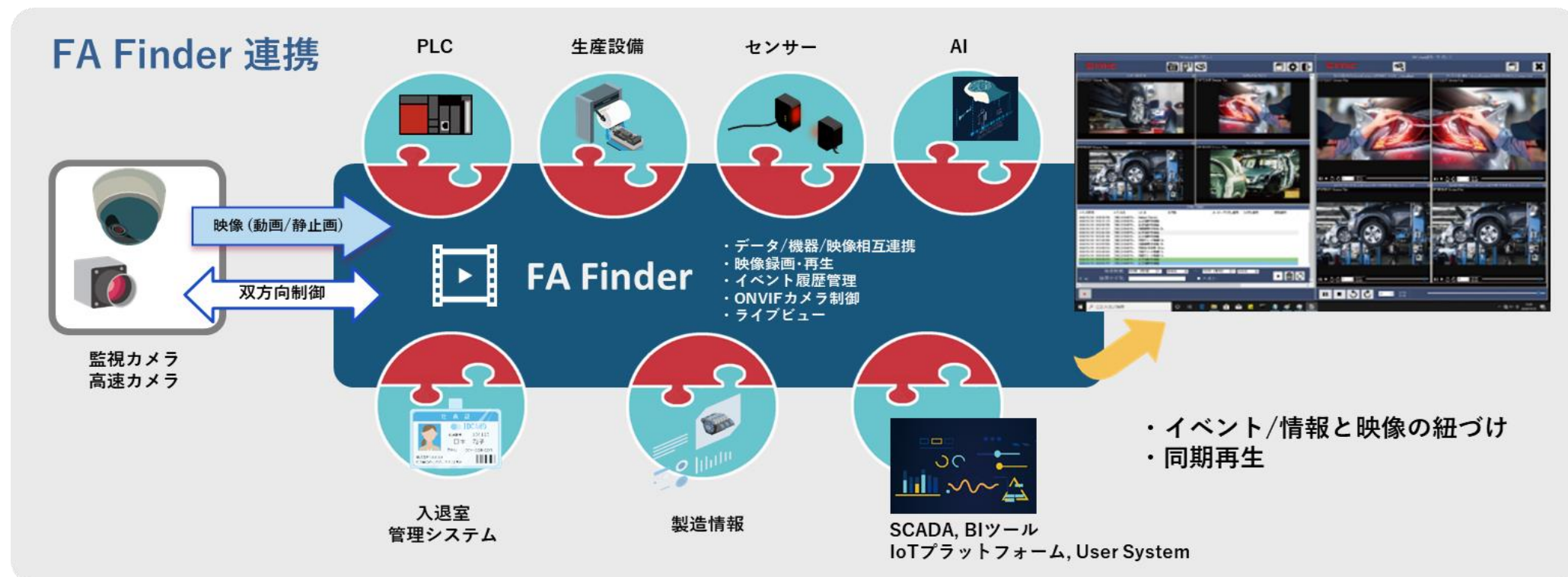
- 記載されていないオプションもございますので、お問い合わせ下さい。

Streaming Platform

Streaming Networkに関する知見とプロトコルスタック製品を元に、映像連携を実現する機器・システム・アプリケーションの開発を強力にサポートする、プラットフォームを提供しています。



映像連携プラットフォーム：FA Finder



- 使える映像情報を自動取得/同期再生：映像の収集と関連データ・イベントとの紐づけを自動化し、イベントドリブンの映像検証を可能にします。
- 簡単、かつ柔軟な連携システム：AI、IoTエッジデバイス、FAシステム、ユーザーシステムと簡単に連携できます。
- 制御は双方向：機器や他システムからのトリガーを元に、複数カメラで自動撮影を可能にします。更に取得した映像を解析し設備の制御も可能にします。



5G時代の高速・大容量・超低遅延・
同時多数接続システム開発を
ストリーミング技術で支えます。

図研エルミック株式会社

URL: <https://www.elwsc.co.jp> e-mail: info@elwsc.co.jp

〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル
Tel : 045-624-8002 / Fax : 045-476-1102

* 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。 * 仕様等は予告なく変更される可能性があります。